

イルミナティのマウイ島のラハイナの先住民に対する攻撃作戦

- 2023年8月8日に、イルミナティは、マウイ島のラハイナの先住民等の住民に対する「**指向性エネルギー兵器**による攻撃」を実行した事
 - 前回カリフォルニア州での「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の複数の事例と同様に、ラハイナでも、標的とされた家屋、商業施設、自動車やボートを完全に破壊したが、周囲の樹木等の植物は、殆ど無傷のままに残された事

[指向性エネルギー兵器で攻撃された後のラハイナの複数の写真]

- これらの写真では、建物や車が完全に破壊されている事に対して、木々(樹木)は、殆ど無傷である事が明らかであり、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の明確な証拠である事
- また、これらの写真では、標的とされていない建物、車とボートは殆ど無傷のままでありながら、周囲の隣接している建物、車とボートは完全破壊されている事が明らかであり、ここまでの高精度の標的破壊は、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の明白な証拠である事
- 標的とされていない建物、車とボートの持ち主は、イルミナティの操り人形側の内部の者である事は、ほぼ間違いないである事

[土の駐車場の真ん中で、「指向性エネルギー兵器」によって破壊された車の動画]

- この動画で見られる様に、土の駐車場の真ん中で、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」によって破壊された車のアルミ合金のホイールが溶けた上、2023年8月8日にラハイナで破壊された他の全ての車の場合と同様に「リアウィンドウ」を含む全ての窓が溶けてなくなっている事
- ガラスを溶かすには、少なくとも 1,371°Cの温度が必要で、786°Cで燃える野火、山火事や森林火災等の自然な火事がガラスを溶かす事は不可能である事
- 最高温度で 825°Cまでしか燃えないガソリンなどの炭化水素燃料の火もガラスを溶かす事は不可能である事
- この様にガラスが溶けている事は、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の明らかな証拠である事
- 或る目撃者は、「衝撃波を感じ、一つの波が草を通過する様に見えたと同時に、この車は一瞬にして焼却された」と報告している事

[指向性エネルギー兵器で攻撃された後のラハイナに見えた「青い色の物」の複数の映像]

- 完全に破壊されたラハイナの中において、周りは壊滅的な被害を受けているにも関わらず、青い色の車、青い色のプランター、青い色の傘や青い色のTシャツは無傷のままであった事
- なぜ青い物体は、損傷を受けていないのでしょうか。
- その理由は、使用されている「**指向性エネルギー兵器**」の周波数が、この周波数表に示されている様に、「10の14乗ヘルツの6.66倍」であり、この周波数の色が「ブルー」[青]であるからである事。この周波数をテラヘルツに換算すると、**666**テラヘルツの周波数となる事
- そしてこのビデオで見える事ができる様に、この青い周波数のレーザーは青い物体を傷つける事はない事。なぜなら、この周波数は、青色に吸収されない為である事
- 住民達の一部は、まるでレーザーが雲の中を通過している様な、青い閃光[光のフラッシュ]を見たと報告している事。これは、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の明らかな証拠である事

- ラハイナのハワイ先住民やその他の住民に対する「**指向性エネルギー兵器**」による破滅的な攻撃を加えて、同時に、「イルミナティ」は、「クラ・マウイ」と「オリンダ・マウイ」という他の2つの地域に対する攻撃も実行した事
 - ラハイナで「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」が行われた時に、1機の「**中国の共産党**」の衛星がマウイ島の上空を通過し、そして、オリンダが攻撃された時に、もう1機の「**中国の共産党**」の衛星がマウイ島の上空を通過し、それから、その同じ「**中国の共産党**」の衛星が24時間後、クラが攻撃された時に、マウイ島の上空を通過した事
 - 全ての時刻が完全に一致しており、これは、「イルミナティ」によってコントロールされている国防総省の一部である **DARPA** 及び **CIA** と協力して実施された事は間違いない事
[**DARPA**(米国防高等研究計画局)、「**中国共産党**」、その他イルミナティが統制している国家や組織の衛星の全ては、低軌道で地球を周回しているものである事]
 - ラハイナとマウイ島の他の2つの地域が、「**指向性エネルギー兵器**」によって攻撃されたという証拠は、「反論の余地のない程」明確である事
 - しかし、先に述べた様に、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」は、この「イルミナティ」の作戦における攻撃段階の「フェーズ1」(第1フェーズ)に過ぎない事
 - 攻撃段階の「フェーズ2」は、米国の「**連邦緊急事態管理庁**」(**FEMA**)が「**州兵の制服を着た FBI 捜査官**」や「**腐敗した警察官**」と共に、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」を生残った生存者や目撃者をラハイナ市内に閉じ込めて殺害する事

[イルミナティのラハイナに対する非常に複雑で計画的な作戦の各段階の概要]

- [準備段階]
- [攻撃段階のフェーズ1]
- [攻撃段階のフェーズ2]
- [隠蔽工作段階] [要するにこの犯罪を隠す段階]
- [土地没収段階]
- [スマート・シティー開発段階]

[ラハイナを「**スマート・シティー**」にする事は、マウイ島を「**スマート・アイランド**」に、そしてハワイを「**スマート州**」にする事の第一歩として計画された事]

[同時に、ラハイナを「スマート・シティー」にする事は、アメリカ全土の地域を「スマート・シティー」に、そして「スマート州」にし、そして世界中で同じ事をする第一歩でもある事]

[「**光同盟**」は、この様な事を決してさせない事]

[準備段階]

- 前述の様に、「**この複雑に組織化され調整された作戦**」には、何年もの計画と準備が必要であった事
[この「マウイ島での攻撃作戦」、「カリフォルニア州の各地域社会への攻撃作戦」、「福島地震と津波の作戦」、「ハイチ地震の作戦」、「ハリケーン・カトリーナの作戦」の様に、自然災害と呼ばれるものの大部分は、実は「**イルミナティ**」と「**彼らの操り人形達**」によって計画された「**人工災害作戦**」であり、世界の人々を永久に恐怖の状態に保つ事を含む、様々な邪悪な目的の為に計画されたものである事]
[将来において時間がある時に、「イルミナティ」がどの様にハリケーンや台風を作り出し、どの様に操縦しているのか、福島やハイチでの地震をどの様に作り出しているのか、洪水やその他の災害をどの様に作り出しているのかを紹介する事]
[同様に、航空機事故の95%以上は「**暗殺作戦**」であり、その大半は「イルミナティ」の **CIA** と

その**姉妹諜報機関**によって実行されている事]

[「タイタニック号の災害」も、「大規模な暗殺作戦」であり、「イルミナティ」に敵対する 3 人の有力者を殺害する事で、米国と世界に対する「イルミナティ」の権力を劇的に増大できた事]

[「**光同盟**」は、「**イルミナティ達と彼らによる人類に害を及ぼすこれらの邪悪な作戦**」を永遠に、**終えさせる日は、近づいている事**]

- 「イルミナティ」が「**アメリカ領域での自然災害を装って、テロ行為を命令するこの様な作戦**」の場合、彼らは、全体の主導者として、大抵、彼らの **CIA** を任命する事
[**9/11** の様な「**テロ組織による攻撃を装っての作戦**」の場合でも、大抵 **CIA** を任命する]
 - 2 年前の説明の様に、**CIA** は、アメリカの組織ではなく、「ヒトラー経由のロックフェラーの命令でナチス・オーストラリアから由来したナチスのスパイ達である**ブッシュ族**」[本名：シェルファー族]が他のナチス達と共に作った組織で、バージニア州ラングレーに偽の本部を置いているが、本当の本部はスイスのジュネーブ湖の下にある地下深層の基地にある事
 - **MIG**、イスラエルの**モサド**、今は消滅したソビエト連邦の **KGB**、**その他の世界各国の姉妹秘密諜報組織**と同様に、「イルミナティ」の「**オクタゴン**」という中央組織によって運営されている事
[**9/11** の作戦については、「**オクタゴン**」経由での「イルミナティ」の命令に則って、**CIA** と「姉妹諜報機関」の一つである**モサド**と組んで、共同主導者として、その作戦を計画して実行した事]
- ラハイナの作戦において、**CIA** は、必要な組織の全てを調整し、作戦を成功させる為に必要な重要なポジション(地位)の全てに「**アセット**」を配置する事。「アセット」とは、**CIA** 自体のメンバー、他の協力組織のメンバー、又は作戦における「**特定の役割に必要とする資質と技能の全てを備えた独立した個人**」の事である事
 - 「攻撃段階のフェーズ1」、すなわち「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」に関して、**CIA** は、「国防総省において「**ロックフェラー一家が指揮している部分である DARPA**」(国防高等研究計画局)と協力し、「**中国共産党**」所有の「**衛星の指向性エネルギー兵器**」が必要な時間にマウイ島の上空を通過し、計画通りの必要な標的のみを攻撃する様にした事
 - 「攻撃段階のフェーズ2」は、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」を生き残ったハワイの先住民とその他の住民をラハイナ市内に閉じ込めて銃殺する事
 - 「この攻撃段階のフェーズ2の住民の殺害」及び「**隠蔽段階**」の両方の総責任者として、**FEMA** が指定された事
 - 州兵に扮した **FBI** 捜査官達や腐敗した**警察官達**は、**FEMA** の指揮下に置かれた事
[前にお話しした様に、**FBI** や **FEMA** 等の連邦機関の殆どは、本来の憲法に違反して違法に設立されている組織であり、「**ロックフェラー一家等のイルミナティ**」が所有している会社である「**アメリカ合衆国有限会社**」の為に勤めているものである事。「ロックフェラー一家」の指令に則って、これらの連邦機関は、アメリカの市民を抑制しながら、全く違法である所得税を始まり多様な方法で市民の富を盗み続けて来た事]
 - **FEMA**(連邦緊急事態管理庁)は、「イルミナティ」が「**仕組んだ自然災害**」[**人工的に作り上げた災害**]の後に、アメリカ市民に対するテロを起こす為に利用する主要機関である事
[もし今後時間があれば、彼らが計画して作り上げたハリケーンやその他の災害の後に犯したテロの事例を幾つか紹介する事]
 - 今回のラハイナ作戦では、「攻撃段階のフェーズ2」、「**隠蔽工作段階**」、及びその後の全ての段階を遂行する為に、**CIA** は、現地レベルの多くのポジション(地位)に彼らの「**アセット**」を配置する事が極めて重要であった事
 - 特にそこまで重要でないポジションについて、場合によって、既に役職している人間を買収したり、脅かしたり、恐喝したりする事で徹底的に従う様に確保する事も大いにある事

- 特に、「攻撃段階のフェーズ2」と「隠蔽工作段階」を成功させる為には、CIAにとって、マウイ警察署長の地位に彼らの「アセット」である「ジョン・ペレティア」を配置する事が不可欠であった事
 - CIA は、この「ジョン・ペレティア」を「マウイ警察署長」のみならず、「マウイ島の検視官のトップという地位」にも据えた事。これは、この作戦を円滑に成功させるに当たり、「死亡者の数と死因の両方」を隠蔽できる為に、極めて重要であった事

[もし正直な検視官が、1,000 人以上の人々が銃殺され、火炎放射器で放火され、多くの人々が銃弾にまみれて海に浮かんでいる事が発見されたらと報告すれば、これが「極悪非道な存在」によって計画された凶悪な犯罪作戦であった実態は、人々にとって明らかになる事]
 - CIA がこの「ジョン・ペレティア」をこの 2 つの地位に抜擢したのは、彼が「組織的な大量殺人作戦」の経験が豊富であったからである事。CIA は、2017 年 10 月 1 日に、ラスベガスで、「銃乱射事件」を装って、「61 人の死亡者と 413 人の負傷者が発生した大量殺人作戦」を実行した際、この「ペレティア」は、ラスベガス警察内の「事件を対応する指揮官」として勤めていた事
 - この「大量銃撃作戦」は、「イルミナティ」の主要な「暗殺作戦」から注目を逸らし、隠蔽する為に計画されたものであった事
 - その「暗殺作戦」は、CIA と協力して、「イルミナティ」のエリート操り人形達の中の極めて重要なメンバーであるこの「サウジ・アラビア」の「アル・ワリード・ビン・タラール王子」(以下「アル・ワリード」という)の部隊による、「光同盟」の重要なメンバーであるこの「サウジ・アラビア」の「ムハンマド・ビン・サルマン皇太子」(以下「ビン・サルマン」という)の暗殺作戦であった事

[つまり、CIA と組んで、この「イルミナティ側」の「アル・ワリード」が、この「光同盟側」の「ビン・サルマン」を暗殺するという計画であった事]

[要するに、「イルミナティのラハイナ市民に対する攻撃作戦」から注目を逸らす為に「イルミナティのハマスによるイスラエルに対する攻撃作戦」を利用した事の様に、「イルミナティの暗殺作戦」から注目を逸らす為に「イルミナティの CIA によって仕組んだこの大量銃撃作戦」を利用した事である事
 - CIA は「アル・ワリード」の部隊達と緊密に協力し、同時に実行した「この 2 つの作戦」を調整した事
 - これはラスベガスの「マンダレイ・リゾート・ホテル」で、「アル・ワリード」がこのホテルの複数の最上階を所有していた事
 - この写真にある様に、「マンダレイ・リゾート・ホテル」の 32 階から、ここの屋根のないラスベガス・ビレッジで行っていた「カントリー・ミュージック」のイベントに参加している人々に向けて、複数の狙撃手達が 1,000 発以上の銃弾を撃ち込んだ事
 - 狙撃手達がこの大量殺人を行なっている間に、「アル・ワリード」の殺し屋チームは、「トロピカーナ・ホテル」で「ビン・サルマン」の暗殺を試みていた事
 - トランプ大統領と宇宙軍は、「ロックフェラー達」が指令した「この暗殺計画」を発見し、「ビン・サルマン」に通知して、彼がホテルから安全な場所に避難させることができた事

[「アル・ワリード」と完璧に対照的である「ビン・サルマン皇太子」は、心の優しい方である事]
 - その後、「アル・ワリード王子」をはじめとする「サウジ・アラビア王室」の裏切り者達は、逮捕され、処刑された事
 - この悪に対する善の勝利は、「イルミナティ」のピラミッド組織を上から下までの解体をできる事に当り、「光同盟」にとって極めて重要な事であった事
 - 「アル・ワリード王子」の部下に加え、CIA は、FBI や「腐敗したラスベガス警察」を含む多くの組織や「アセット」と、同時に実行されたこの 2 つの作戦の調整を担当していた事
 - この腐敗したラスベガス警察の一員として、「ジョン・ペレティア」は、これら 2 つの作戦の計画、実行と隠蔽に当たって、重要人物であった事

- 「このペレティア」は、4,500 人以上のラハイナ住民が行方不明となっていて、これらの大半を彼らが残酷に殺害した事を知りながら、このビデオで録画された 8 月 13 日の記者会見で見える様に、彼は演技して、「なぜ 89 人の死体の内の 2 つの死体の身元しか確認できていないのか」というテーマを集中的に説明した事
 - この様に、こういう作戦の「隠蔽」のプロ達は全体をぼやかす事。[ここで彼、メディアや他の皆は、行方不明者が 4,500 人いるという事実を隠蔽しながら、彼は、狡猾に 89 人の内の 2 名に焦点を移している事]→[100 人前後の被害者しかいない印象を与える為の術策]
 - いつもの様に、「イルミナティ」の **CIA** が指揮している **CNN** 等の **マスコミ** は、上手く隠蔽できる為に徹底的に協力する事である事
[これらの悪人達は息を吐き出す度に嘘をつく事]
 - つまり、この経験豊富な「ペレティア」は、彼の部下の警察官達がこの大量殺人の実行と隠蔽の両方に参加する様に仕向ける為の経験と資質を持っていた事
- **CIA** は、この「**ジョシュ・グリーン**」を「**ハワイ州知事**」として据えた事は、多くの理由で非常に重要であった事。その内の 3 つの理由は次の通りである事
 - (1) ハワイ先住民には、本土のネイティブ・アメリカンの居留地の様に、永続的に土地を所有できる為の「**カマアイナ法**」がある事
しかし、彼らの「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の三週間前に、この州知事は、「土地区画整理法」を可決する事によって、政府がこの「**カマアイナ法**」を覆し、再開発の為にこのハワイ先住民の所有している土地を没収する事を可能にした事
 - ◆ この法律を成立させなければ、「イルミナティ」はハワイ先住民のコミュニティから土地を盗む事ができない事
 - ◆ 本来の「**カマアイナ法**」では、「イルミナティ」が殺したり、誘拐したりする事によって、そのハワイ先住民の土地に住んでいる家族の全員を消したとしても、その土地は、依然として、ハワイ先住民のコミュニティの土地として残される事
[本土のネイティブ・アメリカンの居留地と同様である事]
 - ◆ よって、「**カマアイナ法**」を覆す「**土地区画整理法**」を可決しなかったら、この時点で、イルミナティは、ラハイナの先住民に対する攻撃作戦は実行しなかった事
 - (2) 「**グリーン**」は、明白な理由もなく、彼らの「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」を実行した日である 8 月 8 日を、ラハイナの子供達の休みの日にすると事前に宣言し事。これは、両親が仕事に行っている間、子供達を家にいる様にし、容易に誘拐されるか、フェーズ1か2の攻撃で殺される様にする為であった事
前述した様に、できるだけ多くの子供を誘拐する事が「イルミナティ」の目的の一つであった事。誘拐しなければ、攻撃の両段階で殺害される子供達は、「ルシファー」(別名:サタン、悪魔)への貴重な生贄として見なされる事
子供達を誘拐する事が殺害する事の何れでも、土地の相続人を排除する目的を成し遂げる事になる事
 - (3) 「**グリーン**」は、ラハイナを「**スマート・シティー**」をすぐに発展させる為に指定された企業らとの契約を結んでいた事
ラハイナを「**スマート・シティー**」にする為の建築計画一式が、「米軍特殊部隊員達」によって彼の邸宅で発見された事
- **CIA** は、この「**リチャード・ピッセン**」を「**マウイ市長**」に据えた事も、「攻撃段階のフェーズ2」、「隠蔽段階」、「土地没収段階」、及び「**スマート・シティー**開発段階」を、地元政府の妨害なく、円滑且つ速やかに遂行できる為に非常に重要であった事

- この「**ハーマン・アンダヤ**」をマウイ島の「**緊急事態管理庁長官**」として置かせた事も、少なくとも次の2つの理由で、「ハワイ先住民及びその他のラハイナの住民」の殺害を最大化できる為に大いに役立った事
 - (1) 「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」を実行した日の2日前の8月6日に、**FEMA**(連邦緊急事態管理庁)の**2,500人の作業員達**がハワイ州に到着した事
 そして、その日に、ラハイナで、「アンダヤ」は、この**FEMA**部隊の責任者であるこの「**エリック・レッキー任務支援担当副長官**」に会い、「ハワイ先住民等のラハイナの住民」がラハイナ区域内から逃げられない様に、どこにバリケード(封鎖)を配置すべきかを教えた事
 その目的は、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」を生き残った住民と目撃者の全員をラハイナ区域内に閉じ込めて、火災に殺されなければ、**FEMA**の作業員達、州兵を装っている**FBI**捜査官達や腐敗している**警察官達**に**銃殺**される様にする事であった事
 銃殺後に、火災に殺されたと思われる様に「**火炎放射器**」で**死体を燃やしておく事**
 そして、できる限り、彼らが殺害した人の死体を深く埋葬する事
 - (2) それに、「攻撃段階のフェーズ1及びフェーズ2」による死亡者を最大限に出来る為に、「アンダヤ」は、サイレン及びテレビ局、ラジオ局、携帯電話などに送られる警報といった「マウイ島の高度な警報システム」の全体を最初から最後まで確実にオフにしておく事
- 終始警報システムをオフにしていた事については、納得できる理由がない為、「アンダヤ」は、世論の圧力で辞任した事
 [彼が辞任した直後に、「**光同盟**」に属している「**本来の憲法及び市民に忠実な海兵隊員達**」は、「アンダヤ」を逮捕した事。彼は、軍事裁判で裁かれ、有罪が確定され、処刑される事になる事] **[この凶悪犯罪に共謀したり幫助したりした全ての悪人達も同様に肅清される事]**
- 同様に、**CIA**はこの作戦の各段階が円滑に進む様に、他の多くの要職に人材を配置していた事
- この写真に見られる様に、この記者会見で、ここで、「**ビッセン市長**」は、手で作っている「**フリーメーソン**」という「**イルミナティの秘密結社**」の秘密シンボルで、他のフリーメーソン達に合図している処である事。ここで、「**グリーン州知事**」も、同様にしている事
CIAは、彼らが世界中に指揮する多くの邪悪な作戦に、「フリーメーソン達」を彼らの「アセット」としてよく使う事
- これは、**FEMA**の「**ディアン・クリスウェル長官**」と「**エリック・フックス副長官**」です。
 - 2023年8月5日、ラハイナに対する「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の3日前に、「このクリスウェルとフックスの両名」が署名したメモの中で、マウイ島のラハイナに到着する**FEMA**の監督達と作業員達に、ラハイナの住民達に関して次の様にしなさいと命じた事
 - 火災の被災者に食料と水を与えない事、
 - 民間人の救援活動を妨害する事、
 - 火災に見舞われたラハイナからの避難民が出る事を「いかなる手段を用いても」阻止する事、
 - 死体を「できる限り慎重に」処理する事、
 - 死者は焼却するか、目立たない様に埋葬する事。深く埋葬する事。
 [このメモは、**FEMA**の**伝統的な「人命軽視の無謀な行為**」を象徴している事]
 [「**ロックフェラー達**」は、この為に、**FEMA**を設立した事]
 - 彼らの目的は、「**クリスウェル長官とフックス副長官**」の**命令**に則って、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」を生き残った住民と目撃者の全員をラハイナ区域に閉じ込めて、火災に殺されなければ、「**FEMAの作業員達**」、「**州兵を装っているFBI捜査官達**」や「**腐敗して**

いる警察官達」に銃殺される様にする事

銃殺後に、火災に殺されたと思われる様に「火炎放射器」で死体を燃やしておく事

そして、できる限り、彼らが殺害した人の死体を深く埋葬する事網

- それから、**FEMA** の「**レッキー**」は **FBI** 指揮官達とも会い、この作戦に関する最終計画を確認し、「**ジョン・ペレティア警察署長**」とも会い、彼の墜落した警察官達にバリケード(封鎖)を操作・施行させ、彼らと共にラハイナ住民に「**残虐行為**」を行わせる様に仕向けた事
- 「**レッキー**」は、現場で **FEMA** の指揮官達に、計画の全てを復習し、最終的な確認をした事
- **FEMA** の「**クリスウェル長官とフックス副長官**」の命令に準じて、銃弾でなぎ倒された死体が火事で焼かれた様に見せる為に、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の生存者全員を射殺する為の銃や銃弾、及び「死体に放火する為の火炎放射器」等々もマウイ島に空輸した事
- 「死者は、目立たない様に埋葬する事。深く埋葬する事。」という「**クリスウェル長官とフックス副長官**」から命じられた事に則って、**FEMA** の作業者達は、複数の深い集団墓地を掘る為にも、そこに百何十人の死体ずつを埋める為にも、トラクター等の重機も手配した事
- 前述した様に、8月8日の「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の早朝、彼らはラハイナの特定の区画にアルミニウムなどの金属のナノ粒子と硝酸アンモニウムを飛行機で散布した事
- 「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の少し前に、「**この大量虐殺犯罪者達**」は、2つの目的でラハイナへの水の供給を止めた事
 - (1) ハワイ先住民とその他の住民から火を消す能力を奪う為、及び
 - (2) これらの人々から飲料水を奪う為であった事
- 同様に「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の直前に、ラハイナへの電気供給も止めた事

〔攻撃段階フェーズ2〕 及び 〔隠蔽工作段階〕

- 「フェーズ1」の「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の直後から、**FEMA** 達は、長官と副長官の命令に則って、生き残った先住民や目撃者の大量虐殺と並行して隠蔽工作を実行し始めた事
- 「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の直後、**FEMA** は、ラハイナ区域から住民と観光客が出られない様にバリケード(封鎖)を設置した事
- それに、**FEMA** は、この動画で見られる様に、ラハイナ全体の周囲の周りに黒いフェンスを設置し始めたと同時に、そのフェンスで囲まれた地域から12マイル(19.2km)以内では、**FEMA** 達による「**大量殺人**」や「**住民の貴重品の窃盗**」及び彼らの「**隠蔽活動**」が一切目撃されない様に、メディア、携帯電話通信、インターネット通信、ドローンの使用の全てを禁止した事
- そして、イルミナティの **CIA** は、支配下にあるメディアに、「マウイ島のラハイナで100人強が山火事で死亡した」と報道させた事
- その後、グリーン州知事、ピッセン市長、ペレティア警察署長達が記者会見を開き、嘘を付き続け、自分達が加担した大量殺人を隠蔽し続けた事
- 「行方不明の2,000人以上の子供達は、どこにいるのですか」と何度も多くの人々から質問されたが、彼らは、皆沈黙し、その質問を避け続けた事
- そして、10月7日に、「**イルミナティのハマスによるイスラエルに対する攻撃作戦**」で、全世界の市民の注目をこの「**イルミナティのラハイナの先住民に対する攻撃作戦**」から逸らした事

海兵隊達による **FEMA** 等のテロリスト・犯罪者の退治及び市民と子供の救助

「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の4日後の8月16日にマウイ島のラハイナに到着した**海兵隊員達**による、「**FEMA** 等のテロリスト・犯罪者の退治」及び「市民と子供達の救助」を紹介します。

[8月16日、ラハイナに到着した海兵隊員達は、FEMA 達による「残虐行為」を目の当たりにした事]

- 2023年8月17日現在、ラハイナ到着から1日後、**アメリカ海兵隊員達**は、**FEMA**の作業員達とその協力者達による「**残虐行為**」を目の当たりにした事
 - 海にうつ伏せに浮かぶ、肥大化した銃弾を浴びた死体。
 - 殺された島民や観光客のポケットから貴重品を盗み取る **FEMA** の作業員達。
 - **FEMA** と「**赤十字**」は、市民の救援隊が食料、水、その他の生活必需品をラハイナ市内に届ける事を阻止する事。陸上からも。海上からも。
 - ラハイナのフロント・ストリートで、「**一人の制服を着た腐敗した警察官**」は、一人の歩行者の背後から射殺し、それから、その犯行を目撃した傍観者も射殺した事
 - そしてその警察官は、殺した男性のポケットから貴重品を抜き取った上、指から結婚指輪を引き抜こうとした時に、銃弾が彼の頭蓋を直撃した事
 - 彼は額に手を当て、信じられない思いで血に染まった指を見つめた処、彼はうつ伏せになり、もう片方の手からピストルが落ちた事

[2回程説明しました様に、昨年の2022年09月17日のトランプ大統領の集会で、星の無い国旗を掛けた事は「**光同盟**」からの宣言であった事。その宣言の意味は、「イルミナティ」、「イルミナティの操り人形達」及び彼らの犯行に共謀したり幫助したりする者達]の皆に対して、「今の内に降伏する事ないし反逆罪等の犯行を停止する事をしなければ、逮捕する事なくその場で処刑する事もある」と伝えた事]

[それ以来、世界中、「**光同盟**」は、その宣言に則って実行している事][**光**と**闇**との戦い]

- その腐敗した殺人警察官は、海兵隊が前日の8月16日の午後遅くに到着して以来、海兵隊員達が目撃した5人目の腐敗した殺害警察官であった事。何れもその場で、処刑した事 [**FEMA** の作業員達は、昔から市民を殺害したり、市民の貴重品を盗んだりする事が普通であるが、地元の警察官達が **FEMA** の殺害と盗難に参加する事には、海兵隊員達がとても驚いた事]
- 8月16日午後4時にマウイ島に到着した海兵隊員達は、ラハイナの住民に対する「**想像を絶する殺戮**」に唖然とした事
 - 「**死亡者数は壊滅的である**」と彼らは述べた事
 - 到着した海兵隊員達は、**FEMA の 2,500 人の作業員達**、**州兵の制服を着た犯罪者達**、及び「**ペレティア警察署長**」管下の**汚職警官達**の総数に圧倒的に劣勢である事に気づいて、直ぐに応援を要請した事
 - 先程、前述した様に、海兵隊員達は、地元警察が **FEMA** 作業員達や **FBI** の捜査官達と一緒に殺人を犯しているとは、とても想像はしなかった事
- 海兵隊が現場で目撃した事は、「**計画された大量虐殺**」の後であった事
 - ラハイナの荷揚げドックの近くで、海兵隊員達は、その場しのぎの集団墓地を発見し、15人の焼け焦げた死体が産業廃棄物の中に積み重なっている状態を見つけた事
 - 子供を含むこれらの人々は、まず銃で撃たれて殺された後に、次に「**火炎放射器**」で焼かれて、最後にゴミ箱に捨てられた事
 - 日が暮れてから、海兵隊員達は、**FEMA** の野営地に出くわした事。そこでは、6人の **FEMA** 作業員達と州兵に扮した **FBI** 捜査官達が、彼らが殺害した犠牲者の死体から盗み取った貴重品を山分けしていた事

- その犯人達は、「LED ランプで照らされた折りたたみ式のメッシュチェア」に座り、誰がどの盗品を手に入れるかをめぐって口論していた事
- 海兵隊員達は、一斉に発砲する事により、その6人の「**ディープ・ステートの悪党達**」の論争を一瞬で静かにさせた事
- 別の場所で、海兵隊のある「偵察兵・狙撃手部隊」は、警察官達や州兵に扮した捜査官達が、まるで死者を使い捨てるゴミであるかの様に、歩道から死体を拾い上げてゴミ収集車に投げ込んでいる事を目撃した事
 - その海兵隊員達は、自動砲撃の「雨あられ」を放つ事により、これらの犯罪達を即座に倒せた事
- 8月16日の到着後の最初の夜に、**海兵隊員達**は、この様に、「**ディープステートの悪党達**」と13回交戦した事
 - 最初の夜の後の海兵隊からの短い要約は、「ディープ・ステート」は、定着しているが、私達は長期戦の為にここにおり、「**連邦捜査官**」と「**汚職警察官**」を一人残らず始末するか、ハワイから追い出すまで戦う」という宣言であった事
 [「**連邦捜査官**」の意味は、「**FEMA 作業員**と **FBI 捜査官**」の両方の連邦機関の者達を併せた意味である事]

[8月18日、海兵隊員達は、封鎖を解体し FEMA 達を無秩序な撤退に追い込み約160人を殺傷した事]

- 翌日の8月18日に、増援部隊の到着と共に、海兵隊員達は、**FEMA**の封鎖を解体し、**FEMA**作業員達と彼らの共犯者達を無秩序な撤退に追い込んだ事
 - 到着から2日後の8月18日の時点で、**海兵隊員達**は、約160人の「**FEMA 作業員と彼らの共謀する敵戦闘員**」を殺傷した事 [善と悪との戦い]
- 「**米軍特殊部隊員達**」は「**ハワイ州知事ジョシュ・グリーン**」のホノルルにある邸宅に突入したら、彼の邸宅は暗く、すっかり寂れていた状況で、その邸宅の中に、彼らは、ライナを「スマート・シンター」にテラフォーミングする為の建築設計図一式を発見した事

[8月18日、海兵隊員達は、殺害した住民の死体を集団墓地で埋葬している FEMA 達を退治した事]

- 8月18日の早朝、海兵隊員達は、**FEMA**の作業員達がマウイ森林保護区の近くで、バックホーで掘った集団墓地に死体を埋葬している処を見つけた事
 - **FEMA**の監督者達がタバコを吸ったりコーヒーを飲んだりしながら、**FEMA**の作業員達の行列が男性、女性と子供の死体を貨物車から運び出し、その集団墓地に投げ込んでいた事
 - 海兵隊員達は、一斉に発砲したら、**FEMA**作業員達の多くが即座に倒れた事
 - 一方、**FEMA**作業員達と **FBI**捜査官達の約12人は、近隣の林を這いずり回りながら、無名のSUVの数台と「装甲を施した **FEMA**の移動司令部」という乗り物へと向かい、そのまま逃走した事

[8月19日、海兵隊員達は、FEMAとFBIが小銃で殺した250人以上の住民の死体を発見した事]

....
....
....

[8月22日、海兵隊員達は、マウイ島の緊急事態管理庁の責任者アンダヤを逮捕した事]

[8月22日、海兵隊員達は、高級ホテル宿泊中のFEMA最高責任者と65人の作業員達を逮捕]

....
....
....

[8月28日、米海軍は、ミサイルで、脱出しようとした180人のFEMA作業員が乗った航空機を撃墜した事]

....
....
....

[9月6日、海兵隊員達は、FEMA達が破壊された家屋の灰から私物を盗み取っている事を目撃した事]

....
....
....

[9月14日、米海軍特殊部隊ネイビー・シールズは、誘拐されたラハイナの子供達を救助した事]

....
....
....

[10月1日現在、海兵隊員達、FEMAの作業員達のほぼ全員をマウイ島から殲滅した事]

- 2023年10月1日現在、「**光同盟側**」の「**憲法に忠誠である海兵隊員達**」は、2023年8月8日の「**指向性兵器による攻撃**」の直後から「生残ったラハイナの住民や観光客」を殺害したり彼らの貴重品を盗んだりした **FEMA** の作業員達の一握りを除いて、ほぼ全員を殲滅した事

....
....
....

[**光**と**闇**との戦い]